

今月の特集では、令和6年度の《まちの方針》と《お金（予算）の使いみち》などについて紹介します。



千歳市長 横田 隆一

新年度にあたり

本年は、市長就任2年目を迎えます。これまでを振り返りますと、さまざまな課題に直面した1年であり、市長としての使命とその責任の大きさ、重さを強く感じたところで

す。市政推進にあたり市議会並びに市民の皆さまのご理解とご協力にあらかじめ感謝を申し上げます。

現下の国際情勢は、ロシアによるウクライナ侵略、大国間競争の激化、深刻化する中東情勢など、我が国を取り巻く外的環境は日に日に厳しさを増し、我が国においても、エネルギー・物価高騰の深刻化に加えて、「地球温暖化」や「少子高齢化」「人材確保への対応」など、さまざまな課題に直面しています。一方、経済活動については、昨年

5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行し、入国制限やイベントの人数制限などの規制も撤廃され、社会全体がアフターコロナへシフトしました。

新千歳空港においても、昨年の乗降客数が、4年ぶりに2,000万人を超えるなど、航空需要が急速に回復し、市内観光地やまちなかをはじめ、賑わいを取り戻しているところで

す。このような社会情勢の急速な変化に対応し、市民生活の安定と地域経済の活性化を図り、持続的なまちの発展を進めていくため、直面するまちの課題に果敢に挑戦し、市民の皆さまにとって暮らしやすく、活力あふれるまちの実現に向け、全力で取り組んでまいります。

“まちの鼓動” 予算

輝く未来につながる

まちづくりの基本姿勢

安全安心なまちづくりの推進

身近に起こる自然災害を目的の当りにし、改めて平時からの「備え」の重要性を感じています。

また、全国的に深刻化している出生率の低下や少子高齢化社会の進展は、本市においても重要な課題です。

まちの発展と、安全安心な市民生活を維持していくためには、時代の流れとともに多様化、複雑化する社会情勢の変化や市民ニーズを的確にとらえながら、「医療・福祉」をはじめ、「子育て・教育環境の充実」「防災施策の推進」「都市基盤の整備」など、生活に密着した分野を充実させることが重要であると考えています。

活力あふれるまちづくりの推進

空港とともに発展を続け、自衛隊との共存共栄によるまちづくりを進めてきた本市にとって、「空港」と「自衛隊」は人口の定着に極めて重要な要素です。

さらに昨年、次世代半導体製造拠点の進出が決定したことで、まちは大きな転換期を迎え、半導体関連産業の集積による、さらなるまちの発展が期待されています。

これらを踏まえ、本市の特性である農業・工業・観光などの地域資源を生かした地域経済の活性化や、企業誘致・DXの推進とともに、まちの賑わい創出に向けた「ちとせ未来ビジョン」の実現に向けた検討を進めるなど、市民、事業者、行政が連携して、時々に変化する社会情勢を見極めながら、活力あふれるまちづくりを目指します。

まちづくりの課題

① 子育て支援と教育環境の充実

昨年の記録的な猛暑を踏まえ、子どもたちの安全と快適な学習環境などを確保するため、市内の学童クラブや児童館、小中学校へのエアコン設置を順次進めるとともに、市内の幼児教育・保育施設に対し、エアコン設置費などに関する補助を行います。

また、共働き家庭の増加などによる保育の受け皿確保として、約90人の保育定員を拡大します。

さらに、国の「こども大綱」なども踏まえ、令和7年度から5年間を計画期間とする「第3期千歳子ども・子育て支援事業計画」をつくり、子育て世帯にとって魅力あるまちに向けた取り組みを進めます。

② 現下の物価高騰への取組

新型コロナウイルス感染症が「5類」に移行したことに伴い、人や社会の動きが活発になりましたが、不安定な国際情勢の影響

率の向上を求める活動を、効果的かつ精力的に行います。防災については、これまでの総合防災訓練をはじめとした各種訓練の実施、自主防災組織への資機材の貸与、町内会や学校への防災講座等の実施、重要給水施設の整備などを行います。また、能登半島地震の対応状況を参考とした企業との災害協定の締結や、地域と連携した訓練・防災学習などを行い、市民とともに「災害に強いまちづくり」を進めます。

④ 次世代半導体製造拠点整備への対応

昨年2月のラピダス社による立地表明以降、市の組織体制を充実させるとともに、国や北海道をはじめ、関連企業などと連携し、各インフラ整備を進めています。また、1月に新たに開設したラピダス社の千歳事務所へ職員を派遣するなど、ラピダス社の操業に向けた支援を行っています。

半導体製造に不可欠な水の確保においては、令和7年度の試作ライン稼働に向けた水道整備を昨年から進めているほか、量産体制時の排水処理に対応でき

響を受け、依然として続く物価高騰は、市民生活や企業活動に多大な影響を与えています。今後も、情勢の変化を注視し、市民生活への支援など必要な施策を行います。

③ 自衛隊の体制強化と防災への取組

市はこれまで、自衛隊との共存共栄のまちづくりを進めており、人口の維持や安定した市内経済活動の継続のためには、自衛隊の体制維持・強化が不可欠であると考えています。

国の「防衛力整備計画」には、陸上自衛隊の常備自衛官定数が2,000人減少することや、南西地域の体制強化のため新たな部隊が配置されること、防衛力の抜本的強化にあたってはスクラップ・アンド・ビルドを徹底することが明記されており、今後の動きを注視する必要があると見られます。

時機を伺った要望活動などを実現するため、引き続き「北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会」「千歳市における自衛隊の体制強化を求める期成会」などと連携し、新たな部隊の誘致を含めた自衛隊の体制強化や充足

る下水処理施設の整備に着手します。また、半導体工場の周辺道路についても既に実施設計を終了し、早期の整備に向けて計画を進めています。

さらに、市民の皆さんにラピダス社の工場の進捗をはじめ、半導体関連情報を適切に発信するためのウェブサイトを開設し、半導体への理解や、まちの変化をわかりやすくお知らせします。

⑤ 空港開港100年に向けた取組の推進

令和8年に迎える空港開港100年の節目を盛大に祝賀するため、2月27日に「千歳市空港開港100年記念事業実行委員会」を設立しました。

取組みのスタートとして、空港開港100年記念の象徴となるロゴマークおよびキャッチフレーズを公募により決定し、機運を醸成するとともに、実行委員会を中心に記念事業の検討を進めるなど、100年という大きな節目が市民の記憶に残り、次の100年に向けた一歩となるよう積極的に取り組ま



関係機関と連携した防災訓練（そなえーる）

③ 「災害や危険から暮らしを守るまち」の推進

【消防】▼札幌圏共同消防指令センターの整備工事や消防総合庁舎の大規模改修工事を実施▼消防車両や消防用資機材を更新▼消防団員の防火服を更新

【防災】▼効果的な訓練の実施
防災関係機関との連携を強化▼防災関係機関の災害対応に役立つため、「防災グリッドマップ」を更新▼福祉避難所である総合福祉センターの給水装置を耐震化

事業名	予算額（千円）
重要給水施設耐震化事業	6,300
消防総合庁舎大規模改修事業	432,264
★消防団員用防火服更新整備事業	4,188
消防車両等更新事業	31,243
札幌圏共同消防通信指令システム更新整備事業	130,889
防災訓練事業	4,036

④ 「充実した学びと豊かな文化・スポーツのまち」の推進



半導体関連産業に求められる人材の育成に取り組む《公立千歳科学技術大学》



新年を祝うアシリパノミ（千歳アイヌ協会）

【学校活動】▼中学校部活動の地域移行に向け、教員の部活動指導を補完する「部活動指導員」を配置

【学校給食】▼《千歳市新学校給食センター整備基本計画》を策定

【公立千歳科学技術大学】▼半導体関連産業に求められる人材の育成に向けた学生への半導体関連科目の周知▼大学院の機能強化・拡充による高度情報専門人材育成を検討

【アイヌ施策】▼《第2期千歳市アイヌ施策推進地域計画》を策定▼アイヌ文化の保存・継承と普及・啓発を実施

事業名	予算額（千円）
小学校ICT機器等整備事業	58,173
中学校ICT機器等整備事業	29,469
★小学校冷房設備整備事業	156,137
★中学校冷房設備整備事業	12,323
国指定史跡整備事業	439,233
学校活動支援事業	42,355

⑤ 「地の利と資源を生かした産業のまち」の推進

【農林業】▼自動操舵システムを導入する農業者を支援する「スマート農業普及推進助成事業」を実施

【商業の振興】▼空き店舗の利活用の促進や、新規開業支援資金の利用者への利子補給を実施

【雇用】▼合同求人企業説明会の拡充、高校生向けの企業紹介冊子の作成や企業見学バスツアーを実施

【観光振興】▼アドベンチャートラベルの受入環境を整備▼市独自の宿泊税の導入に向けた検討委員会を設置



支笏洞爺国立公園に指定されている支笏湖

事業名	予算額（千円）
千歳美々ワールド整備事業	540,488
★将来ビジョン・人口ビジョン策定業務経費	31,747
地元就職・人材確保支援事業	17,484
★スマート農業普及推進助成事業	8,600
企業誘致プロモーション事業	11,833
★ツーリズム推進事業	3,013
中小企業対策支援事業	577,612

① 「あたたかさとながりを心で感じられるまち」の推進

【医療】▼市民病院では、新たに総合診療科医師2人を内科に配置するほか、「経営強化プラン」に掲げた取り組みを推進し、持続可能な医療提供体制を確保

【地域福祉】▼地域共生社会の実現に向けた《第5期地域福祉計画》を策定▼総合福祉センターの老朽化対策として、施設の環境改善に着手

【母子保健・児童福祉】▼産後ケアの充実のため、デイサービス型で長時間の利用ができる「ロング型」を新設▼全ての妊産婦、子育て世帯、子どもに関し、一体的に相談支援を行う「こども家庭センター」を設置▼ヤングケアラーを適切な支援につなげる「ヤングケアラー・コネクター」を配置

【子育て支援】▼恵庭市との連携事業として、屋内遊び場「え



産後ケアの充実（デイサービス型で長時間利用できるロング型を新設）



基幹病院としての役割を果たす市民病院

事業名	予算額（千円）
★子育てアプリ導入事業	996
★総合福祉センター環境改善事業	22,110
★子どもの遊び場利用者支援事業	2,066
★教育・保育施設冷房設備整備支援事業	19,275
★学童クラブ冷房設備整備事業	8,959
★へき地児童クラブ運営事業	2,984
★児童館冷房設備整備事業	3,724
産前・産後ケア事業	10,455
要保護児童地域ネットワーク協議会経費	199
家庭児童相談室事業	2,026
★地域福祉計画策定業務経費	1,226

にわファミリーガーデンりあ」の利用料の恵庭市民との同額化を実施▼子育て情報の発信のオンライン予約ができる「子育てアプリ」を導入

【高齢・障がい福祉】▼意識疎通に配慮が必要な方の情報取得や利用に関する施策を進める「コミュニケーション条例」を検討

② 「豊かな自然を育み快適で住みよいまち」の推進



道央廃棄物処理組合の焼却施設（4月供用開始）



ゼロカーボンシティ実現に向けた脱炭素化の推進

【カーボンニュートラル】▼《千歳市地球温暖化対策実行計画》に基づき、脱炭素の取り組みへの支援や公共施設などの脱炭素化を推進

【廃棄物対策】▼千歳市を含む2市4町で構成する道央廃棄物処理組合において、4月から焼却施設の供用を開始

【采軍訓練移転や共同訓練】▼市民の不安解消や安全確保のため、国に対し事前の情報提供や安全管理の徹底などを要請

【航空機騒音に対する住宅防音工事】▼予算の確保、対象範囲の拡大、告示後住宅への対応など、制度の拡充を国に対し要望

事業名	予算額（千円）
千歳美々ワールド周辺環境影響調査事業	29,166
脱炭素化推進事業	7,073
支笏湖ゼロカーボンパーク推進事業	1,112
★公共施設等脱炭素化推進事業	10,000
道央廃棄物処理組合経費	395,375
道央廃棄物処理組合焼却施設建設事業	27,024

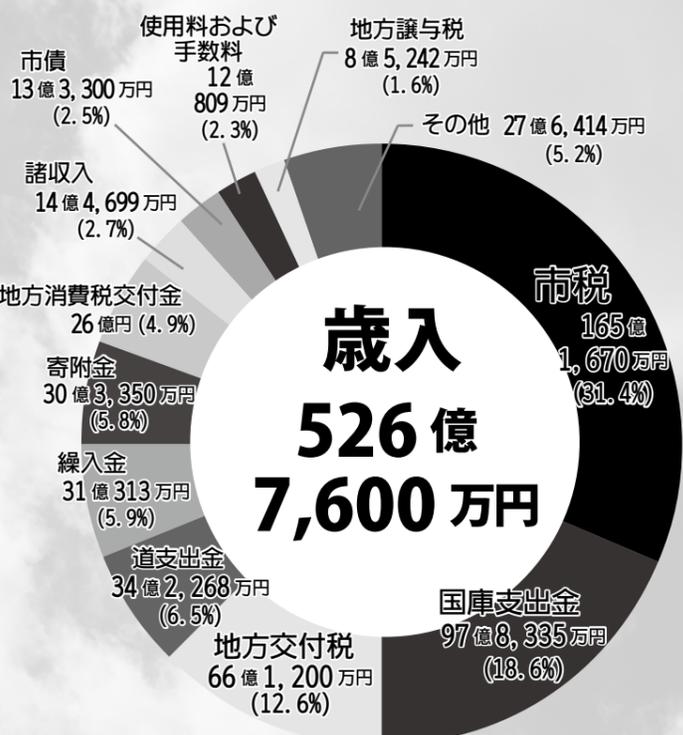


おもな施策

《第7期総合計画》で設定した「7つのまちづくりの基本目標」にそって、おもな施策を紹介します。

※表中、事業名の「☆」マークは、令和6年度、新たにはじまる事業です。

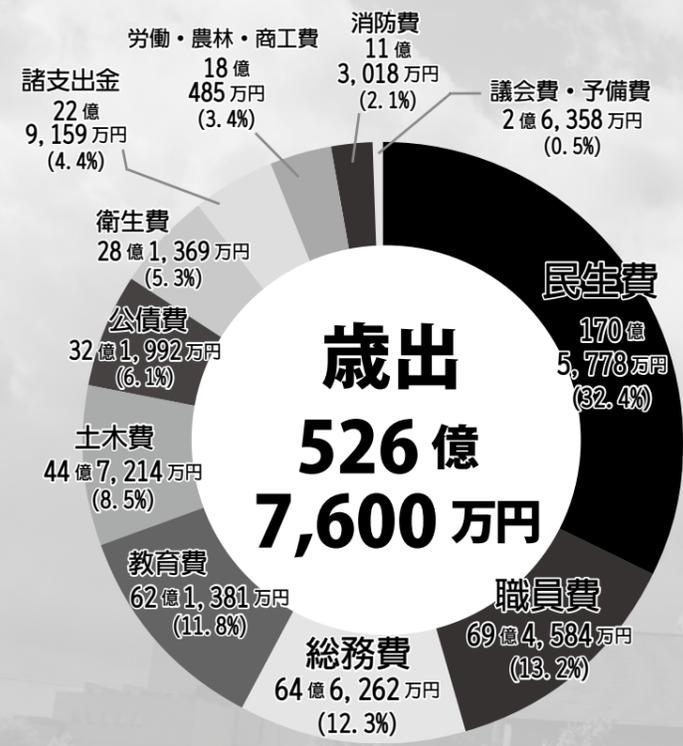
※予算についてはP7をご覧ください。



● 歳入予算の内訳 (単位: 千円)

会計名	令和6年度	令和5年度	増減	増減率 (%)
一般財源	30,475,245	29,556,579	918,666	3.1
特定財源	22,200,755	19,504,428	2,696,327	13.8
歳入合計	52,676,000	49,061,007	3,614,993	7.4

※一般財源は、市税などが使いみちを自由に決められるお金です。
 ※特定財源は、国や北海道の支出金など、使いみちが決められているお金です。
 ※令和5年度は、6月補正後の予算です。



● 詳細
 【市政執行方針に関すること】企画課 企画調整係 ☎(24)0439/☎(22)8852
 【予算編成に関すること】財政課 財政係 ☎(24)0541/☎(22)8854

予算の報告

会計	金額	前年度比
一般会計	526億7,600万円	(7.4% ↑)
特別会計	160億3,558万円	(4.0% ↑)
公営企業会計	189億5,916万円	(7.3% ↓)

今年度予算のポイント

「第7期総合計画」および「第2期財政標準化計画」を着実に進めるとともに、「優先課題推進枠（安全安心に関する事業・活力あるまちづくりを推進する事業）」に関する予算を重点的に配分。人口増加が続く、持続可能な千歳の未来に向けて、直面する課題に積極的に対応するため、「輝く未来につながる「まちの鼓動」予算」として編成しました。安全・安心・安定した市民生活の実現に向け、新たに運用を開始するごみ焼却施設の「道央廃棄物処理組合経費」や、「千歳美々ワールド整備事業費」などが増加したことにより、今年度の予算総額は、526億7,600万円で、前年度と比較して7.4%の増加となっています。

《まちの鼓動》予算

輝く未来につながる

● 各会計予算総括 (単位: 千円)

会計名	令和6年度	令和5年度	増減	増減率 (%)
一般会計	52,676,000	49,061,007	3,614,993	7.4
特別会計	16,035,578	15,412,816	622,762	4.0
国民健康保険	7,970,083	7,949,680	20,403	0.3
土地取得事業	55,168	380	54,788	14,417.9
公設地方卸売市場事業	71,141	64,005	7,136	11.1
霊園事業	22,647	25,026	▲2,379	▲9.5
介護保険	6,471,512	6,085,759	385,753	6.3
後期高齢者医療	1,445,027	1,287,966	157,061	12.2
合計	68,711,578	64,473,823	4,237,755	6.6

会計名	令和6年度	令和5年度	増減	増減率 (%)
公営企業会計	18,959,158	20,441,950	▲1,482,792	▲7.3
水道事業会計	4,131,538	4,231,241	▲99,703	▲2.4
下水道事業会計	6,178,851	7,689,551	▲1,510,700	▲19.6
病院事業会計	8,648,769	8,521,158	127,611	1.5
合計	18,959,158	20,441,950	▲1,482,792	▲7.3

総合計	令和6年度	令和5年度	増減	増減率 (%)
総合計	87,670,736	84,915,773	2,754,963	3.2

※令和5年度は、6月補正後の予算です。



事業名	予算額 (千円)
2026ちとせ・空港開港100年記念事業	52,717
★自動運転社会実装推進事業	79,892
★A I オンデマンド交通導入推進事業	10,008
市道整備事業	749,208
市内公園整備事業	163,691
★インクルーシブ遊具整備事業	19,300
★ちとせ住まいのゼロカーボン化推進事業	3,563
官民連携まちなか活性化推進事業	6,622
道路維持整備事業	54,000

⑥ 「暮らしやすく便利な都市基盤があるまち」の推進

【新千歳空港】▼関係機関と連携し、空港機能の高質化や航空路線を維持・拡充

【公共交通】▼A I オンデマンド交通や自動運転バスの実証実験を向陽台地区で実施▼千歳駅前広場の再整備を実施

【中心市街地の活性化】▼《ちとせ未来ビジョン》の実現に向け、グリーンベルトとその周辺街区の活用方法や拠点施設などについて民間事業者から提案を募る「サウンディング」を実施

【都市基盤】▼道路、公園などを計画的に修繕・更新▼障がいのある無に問わず遊ぶことのできるインクルーシブ公園を整備

【千歳川流域の治水対策】▼水害に強い地域づくりに向けて国や北海道、流域市町と連携

【上下水道】▼計画的な更新のほか、指定避難所などへの配水管路の耐震化を実施▼水需要の増加に対応するため、浄水場の能力確保に関する基本設計を実施▼ラビダス社の試作ラインに必要な水を供給するための水道管を整備▼量産体制時の排水処理に必要なポンプ場および下水道管を整備▼処理場の処理能力を増強

⑦ 「多彩な市民とオール千歳で挑戦するまち」の推進

【町内会活動】▼町内会連合会などと連携し、活発にコミュニティ活動に取り組むことができよう支援

【活力ある「コミュニティづくり」】▼(仮称)大和地区コミュニティセンターについて、令和9年度中の供用開始に向けて基本設計に着手

【DXの推進】▼マイナンバーカードなどを活用し、氏名などを記入せずに証明書の発行や申請手続きができる「書かない窓口」を導入

【情報発信】▼「ふるさと納税」や「移住情報ポータルサイト」などを活用し、まちの魅力を発信▼広報ちとせやホームページ、SNSなどに加え、メディアの積極的な活用により幅広い年齢層に情報を発信



事業名	予算額 (千円)
ふるさと千歳応援事業	3,034,400
★書かない窓口導入事業	12,329
★行かない窓口導入事業	1,037